

- 2026 -

# 公開研修会のお知らせ

## 夏のセミナー版

保育、教育の現場でニーズの高いテーマについて、  
実践経験豊富な講師陣がわかりやすくお伝えします。  
1つのテーマで2日間（6講義）じっくりと学べる対面によるセミナーです。

### 夏のセミナー 日程とタイトル

7月20日(月・祝)～21日(火) 同日程で同時開催	S1 特別な関わりが必要な子への保育・幼児教育
	S2 ASD(自閉スペクトラム症)の子の理解と支援の実際
7月22日(水)～23日(木) 同日程で同時開催	S3 ことばの発達の評価と支援
	S4 「不器用」への理解と支援
7月31日(金)～8月1日(土) 同日程で同時開催	S5 「行動の問題」の見方と対応の実際
	S6 「保護者との連携」を学ぶ ― 家族を支える
8月2日(日)～3日(月) 同日程で同時開催	S7 支援に活かす知能検査の読み取り方 ― WISC-VやKABC-II、読み書きアセスメントについて
	S8 基礎から学ぶ発達障害・知的障害



The Japanese Association on Intellectual and Developmental Disorder

発達協会

公益社団法人 発達協会

<https://www.hattatsu.or.jp>

# 2026夏のセミナー 開催要項

**時間帯** 受付9:45～ 第1講 10:15～11:45 第2講 13:00～14:30 第3講 14:50～16:20

**受講料** 1セミナー（2日間） 15,400円（税込）※セミナー単位の申込みです。  
正会員・賛助会員は会員価格 13,860円（税込）

**会場** 東京ファッションタウン（TFT）ビル東館9階研修室  
〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11  
最寄り駅：東京ビッグサイト駅（ゆりかもめ）徒歩1分 国際展示場駅（りんかい線）徒歩5分

**定員** 120名～160名（定員になり次第締め切ります）

## お申込み（チケット購入方法と受講までの流れ）

希望するセミナーのPeatixページで、お一人様1枚のチケットをご購入ください。

<https://peatix.com/group/11688302> →

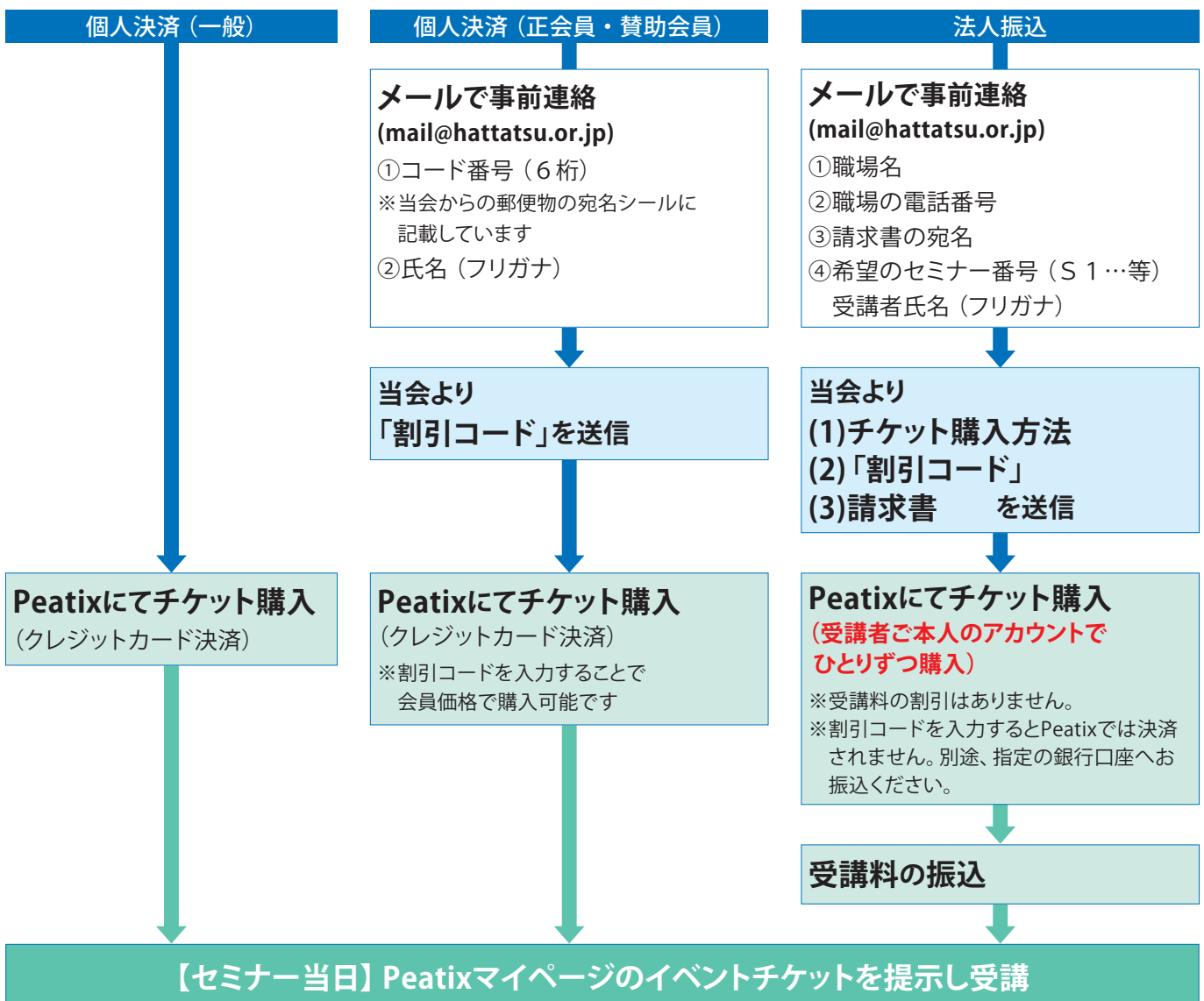


※正会員・賛助会員の方や法人振込をご希望の方は、事前連絡が必要です。詳細はPeatixをご参照ください。

※チケット購入には、Peatixアカウントが必要です。新規登録またはログインの上でご購入ください。

※チケット販売期限やキャンセル、ご返金が可能な期限については、セミナーごとに異なります。申込みされるセミナーのPeatixページでご確認ください。

※チケットを購入された時点で申込み完了となります。チケットを購入されていない方は参加できません。



**キャンセル**

- ・キャンセル、ご返金が可能な期限内にご連絡をいただいた場合、キャンセル処理をいたします。
- ・キャンセルの場合は、必ずPeatixチケット画面にある「主催者へ連絡」または「問い合わせ」からご連絡ください。法人振込チケットの場合は、ご担当者から発達協会へ直接ご連絡ください。
- ・いかなる理由であっても、別のセミナーへの振替は行っておりません。

**ご注意**

- ・同時開催のセミナーは、どちらか1つのセミナーしか申込みできません。
- ・申込み後のご案内はすべてメールで行いますので、「@peatix.com」からのメールを受け取れるように設定してください。
- ・社会状況の変化により、中止になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・会場の都合により、会場での書籍の販売は行っておりません。

**お問合せ****公益社団法人発達協会**

〒115-0044 東京都北区赤羽南2-10-20 TEL03-3903-3800

ホームページ <https://www.hattatsu.or.jp> メールアドレス [mail@hattatsu.or.jp](mailto:mail@hattatsu.or.jp)2025夏のセミナー  
アンケートより  
★ ★ ★

思い当たる児童を思い浮かべながら講義を聞いたことで具体的な指導につながりました。得意なことを伸ばして、苦手なことを少しでも軽減できる手立てを考えていけるようにしていきたいと思いました。

保育園でのクラス作りに関して、必要な視点や考え方を知ることができました。すぐにやってみようと思えるような具体的なお話が多くて参考になりました。

改めてアタッチメントの大切さを学ぶことができて有意義でした。

とても詳しい説明で、ディスレクシアに関するアセスメントについて学ぶことができました。気になる生徒がたくさんいますので、自分でできることがあればやってみたいと思います。

小学校入学までの話が多かったなかで、青年期の話まで聞くことができ、子どもが成長していく先で必要になる支援を知ることができました。

実例がありながらのご講義、とてもわかりやすかったです。お子さんたちがなぜそのような行動をするのか、原因を考えながら事前対応を心掛けて療育に臨みたいと思います。

園での集団生活に困っていることがある子は言葉の発達に問題があることも多く、具体的に何が苦手どこを支援してあげれば、その子の困り感に寄り添えるか考える手がかりになりました。

正直、聴こえと発語についてそこまで深く考えたことがなく、また聴こえについても学ぶことがありませんでした。この講座を通して、聴こえが言語発達にどのような影響を与えるのか理解することができました。

自分達大人が、こうあるべきというスタイルに囚われて不適切な関わりをしているかもしれないということに気づくことができとても勉強になりました。隣の方とこまめに話し合いができ、どこでも同じような悩みがあることが分かったのも良かったです。

知識を整理して伝えて頂きとても分かりやすく、勉強になりました。反抗や情動のコントロールなど、発達段階によるものと捉えることや、学童期に抱える不安や恐怖に正しく対処していくことの大切さを学びました。子どもや家族の幸福感が高まり、幸せだと感じて過ごすことのできる支援について自分には何ができるのかを改めて考えたいと思いました。

2026年7月20日(月・祝)・21日(火) 2セミナー 同時開催

# S1

## 特別な関わりが必要な子への 保育・幼児教育



対象年齢： 幼児 |—————|—————|—————|—————|—————|—————|—————|—————|—————| 青年

クラスでの支援には一人ひとりの子どもを見立てることが求められます

障害のあるなしにかかわらず、勝手な行動をする、気持ちの切り替えが難しいなど、特別な関わりを必要とする子がいます。子どもの行動や気持ちの背景には、どんなことが考えられるでしょうか？ このセミナーでは、子どもの見立てのポイントを発達特性、感情コントロールなどの実行機能や感覚、社会性などの視点からお話します。あわせて「クラス」という環境をどのように整えていくのか、幼保小連携のための支援者の心がまえも含め、お伝えします。

7月20日(月祝)	10:15 ~ 11:45	特性をふまえた関わり方	水野智美 (東京科学大学)
	13:00 ~ 14:30	幼児期に伸ばしたい実行機能の力	池田吉史 (東京学芸大学)
	14:50 ~ 16:20	子どもの発達とあそび ——作業療法からのアプローチ	石井孝弘 (天理大学)
7月21日(火)	10:15 ~ 11:45	社会性の発達をふまえた幼児期の関わり方	小倉尚子 (発達協会)
	13:00 ~ 14:30	クラスづくりとは ——どの子にとってもわかりやすく	佐藤 暁 (岡山大学)
	14:50 ~ 16:20	クラスの中での支援の実際	佐藤 暁 (岡山大学)

# S2

## ASD (自閉スペクトラム症) の子の理解と支援 の実際



対象年齢： 幼児 |—————|—————|—————|—————|—————|—————|—————|—————|—————| 青年

ひとことで「ASD」と言っても、その特性の表れ方は様々です

関わり方に悩むことが多いASDの子。大人は拒否されているように感じることもありますが、実は他人とどう関わればよいのか分からないだけかもしれません。友達と一緒に遊べない、変化に対応できない、苦手な感覚がある……。そんなお子さんと関わる支援者の皆さんに、子どもたちの感じ方・考え方を理解するヒントを見つけてもらうためのセミナーです。様々な角度からASDの基本的な知識を整理したい方が対象の講座です。

7月20日(月祝)	10:15 ~ 11:45	ASDらしさとは何か?	田中 哲 (子どもと家族のメンタルクリニック やまねこ)
	13:00 ~ 14:30	ASDの子の感覚の問題	松島佳苗 (関西医科大学)
	14:50 ~ 16:20	ASDの子のコミュニケーション	原 哲也 (児童発達支援事業所WAKUWAKU すたじお)
7月21日(火)	10:15 ~ 11:45	ASDの子の発達と認知特性	亀井真由美 (東大和療育センター)
	13:00 ~ 14:30	行動の問題へのアプローチの実際	井上雅彦 (鳥取大学)
	14:50 ~ 16:20	ASDの子への支援の考え方	井上雅彦 (鳥取大学)



S5

「行動の問題」の見方と対応の実際



対象年齢： 幼児 |—————|—————|—————|—————|—————|—————|—————|—————| 青年

「行動の問題」を捉え直すことで、指導者・支援者としての在り方も考えます

授業中に立ち歩く、予定変更が苦手、イライラして暴言を吐く、気持ちの切り替えができないなどの「行動の問題」をどのように捉え、対応するとよいのでしょうか。子ども自身も困っていることをふまえ、対応を考える必要があります。様々な「行動の問題」の背景を紐解きながら、適切な行動を増やすためのアプローチについて、発達障害のある子を中心に経験豊富な講師陣がお話します。また、増加を続ける不登校の子どもへの対応や、指導者・支援者としての在り方についても学べる充実のセミナーです。

7月31日(金)	10:15 ~ 11:45	応用行動分析 (ABA) による発達支援と行動問題の予防と対応	山本淳一 (慶應義塾大学/東京都立大学)
	13:00 ~ 14:30	発達障害のある子の不安やこだわりへの支援	小関俊祐 (桜美林大学)
	14:50 ~ 16:20	発達障害のある子の感情コントロール ——ソーシャルスキルを身につける	藤枝静暁 (埼玉学園大学)
8月1日(土)	10:15 ~ 11:45	医学的にみた「行動の問題」 ——不登校への対応を中心に	三木崇弘 (はりまこどものこころ診療所)
	13:00 ~ 14:30	多様な子どもたちの「行動の問題」とアプローチ	川上康則 (杉並区立済美養護学校)
	14:50 ~ 16:20	指導者・支援者としての「まなざし」の再構築	川上康則 (杉並区立済美養護学校)

S6

「保護者との連携」を学ぶ — 家族を支える



対象年齢： 幼児 |—————|—————|—————|—————|—————|—————|—————|—————| 青年

「保護者との連携」は、支援者として欠かせない視点です

発達障害のある子どもと関わる支援者は、常日頃から保護者と協働して子どもの成長を促していきたいと願う一方で、その付き合い方に悩みが尽きないものです。支援者として、保護者をより深く理解するために学んでおきたいテーマとして、新たに、連携のためのペアレント・トレーニングや、急増している外国にルーツのある子どもとその保護者への支援を取り上げています。保護者も実は孤立し、苦しんでいるかもしれないという視点に立ち、保護者を支えるコツや相談のコツなど、現場経験豊富な講師陣がじっくりとお話します。

7月31日(金)	10:15 ~ 11:45	支援者が知っておきたいアタッチメントの基本的な考え方	遠藤利彦 (東京大学)
	13:00 ~ 14:30	外国にルーツのある子どもと保護者への支援	林 恵 (作新学院大学)
	14:50 ~ 16:20	障害のある子のきょうだいへの支援を考える	吉川かおり (明星大学)
8月1日(土)	10:15 ~ 11:45	連携のためのペアレント・トレーニングを学ぶ	井澗知美 (大正大学)
	13:00 ~ 14:30	「家族を支える」——特性理解を深めるために	広瀬宏之 (横須賀市療育相談センター)
	14:50 ~ 16:20	保護者に寄り添った対応の実際	広瀬宏之 (横須賀市療育相談センター)

2026年8月2日(日)・3日(月) 2セミナー 同時開催

S7

## 支援に活かす知能検査の読み取り方 — WISC-VやKABC-II、読み書きアセスメントについて



対象年齢： 幼児 |—————|—————|—————|—————|—————|—————| 青年

指導・支援を行う上で欠かせない、客観的な指標について学びます

子どもの学び方や認知の特性を知る手がかりとなる知能検査。困難さの背景を知ることは、配慮の仕方や長所を活かした学び方を探るヒントにもなります。このセミナーでは、学齢期に起こりうる困難さに焦点を当て、WISC-V、KABC-II、読み書きアセスメントについて取り上げます。検査の取り方ではなく、検査からわかることや結果の解釈法について学び、検査結果を指導・支援に活かすためのセミナーです。検査結果を受け取る、学校や放デイの先生方にも人気のセミナーです。

8月2日(日)	10:15 ~ 11:45	WISC-Vの概要	青山真二 (北海道教育大学)
	13:00 ~ 14:30	WISC-Vの結果の読み取り方	青山真二 (北海道教育大学)
	14:50 ~ 16:20	WISC-Vの結果を支援に活かす	青山真二 (北海道教育大学)
8月3日(月)	10:15 ~ 11:45	読み書きアセスメントの概要と支援の実際	後藤多可志 (目白大学)
	13:00 ~ 14:30	KABC-IIの概要	永田真吾 (山梨大学)
	14:50 ~ 16:20	KABC-IIの検査結果を支援に活かす	永田真吾 (山梨大学)

S8

## 基礎から学ぶ発達障害・知的障害



対象年齢： 幼児 |—————|—————|—————|—————|—————|—————| 青年

経験の浅い指導者・支援者向けの基礎講座です

発達障害・知的障害のある子どもの成長において、それぞれの発達段階で必要な支援はなにか？ なにを大切にしたらよいか？ 支援者自身がその子の将来の見通しを持つことで、支援の方向性が見えてきます。経験豊富な講師陣が、基本的な支援の考え方から具体的な方法まで、事例とともにお伝えします。自分が関わる数年間を、「その子の長い人生の中の大切な時期」と捉え、指導・支援について考えてみませんか？

8月2日(日)	10:15 ~ 11:45	神経発達症・知的発達症の理解	大谷良子 (発達協会王子クリニック)
	13:00 ~ 14:30	インクルーシブ保育の考え方とその実践	三山 岳 (愛知県立大学)
	14:50 ~ 16:20	生活の力を高める遊びや関わり方	笹田 哲 (神奈川県立保健福祉大学)
8月3日(月)	10:15 ~ 11:45	社会性の発達とその支援①——学齢期に育てたい生活スキルやコミュニケーションを中心に	日戸由刈 (相模女子大学)
	13:00 ~ 14:30	社会性の発達とその支援②——青年期までに身につけたいこと	日戸由刈 (相模女子大学)
	14:50 ~ 16:20	園や教室の中での合理的配慮——子どもの特性に合わせた工夫	藤野 博 (東京学芸大学)

# 会場 東京ファッションタウン (TFT) ビルへのアクセス



## 会員募集

発達協会では、活動を支えてくださる正会員・賛助会員を募集しています。  
会員になると、様々な会員特典が受けられます。

### 賛助会員の場合 (一口5,000円)

年間購読料4,884円の月刊誌『発達教育』が追加料金なしで毎月届きます。  
対面セミナーが会員価格で受講できます。

### 正会員の場合 (一口10,000円)

賛助会員の特典に加え、当協会の事業を決定する会員総会で1票を投じる権利が得られます。

入会を希望される方には、当会の活動を紹介するパンフレットと申込みハガキをお送りします。申込みハガキをご返送いただき、申込みが受理された段階で入会となります。入会后、月刊誌とともに会費の振込用紙をお送りします。ぜひホームページからお問合せください。

月刊誌をご購読いただいている方もセミナーへの参加を検討されるこの時期に、ぜひ会員への切り替えを考えてみてはいかがでしょうか。

お問合せお待ちしております。



発達協会

公益社団法人発達協会

〒115-0044 東京都北区赤羽南2-10-20 TEL03-3903-3800

ホームページ <https://www.hattatsu.or.jp> メールアドレス [mail@hattatsu.or.jp](mailto:mail@hattatsu.or.jp)

